

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900149		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム船橋二子		
所在地	千葉県船橋市二子町629-2		
自己評価作成日	平成30年3月4日	評価結果市町村受理日	平成30年5月8日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	平成30年3月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・その人らしい快適で穏やかなシルバーライフを常にサポートします。 ・心を込めた親切なサービスに努めその心を磨き続けます。 ・さまざまな機会を通じ、地域の人々との触れ合いを大切にします。</p> <p>ご利用者お一人おひとりが周りのご入居者を気遣い、共に助け合いながら生活しております。 スタッフが入ることなく、歌やトランプを楽しむ姿が多くみられます。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>1)在職年数の長い職員が多く、ゆとりを持って支援することを心掛け、一人ひとりの入居者に合わせた言葉掛けやコミュニケーションを大切に、「その人らしい生活のサポートと心を込めた支援」との理念の実践にチームワーク良く取り組んでいる。2)テーブルやソファの位置、自立組と介助組、相性などを配慮した席の配置にする等、入居者が互いに周りの入居者の事を気遣いながら共に助け合って安心して楽しく過ごせる環境作りに取り組んでいる。3)入居者が中心となって百人一首やえん下体操、明るく歌を歌っている、その傍らで職員はにこにこしながらゆっくりと見守っている情景が印象的であった。</p>

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+Enter)です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の理念を夕礼時に唱和し、全スタッフが共通認識としております。	法人の3つの運営理念を毎日夕礼時に唱和している。特に「その人らし生活のサポートと心を込めた支援」を実践するため、一人ひとりの入居者に合わせた言葉掛けやコミュニケーションを大切にしている。職員がゆとりを持って支援し、入居者も職員も楽しく生活出来るホームを目指している。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣のレストランへの外食や買い物を行っています。今後、まずは地域のボランティアの方を積極的に受け入れていく予定です。	地域いきいきサロンに参加している。近隣の馴染みのファミレスやステーキ屋によく行く、日常的に目の前のドラッグストアへの日用品やおやつ、飲み物を買に行くなど社会とのつながりを大切にしている。地域のボランティアを積極的に受け入れていく予定とのことである。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在、他船橋市の事業所と合同で認知症サポーター養成講座を計画しております。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、ご家族様が中心では御座いませんが、運営推進会議を開催。そのなかで手紙の内容や報告等の変更を致しました。	地域包括支援センター職員や多くの家族が参加して、ホーム内人事、入居者状況、行事・活動・事故報告や外部評価等を議題として概ね2ヶ月に一度開催している。地区の認知症高齢者徘徊模擬訓練の実施や避難訓練状況を見て頂くことを検討する等提案を活かす取り組みがなされている。	運営推進会議の趣旨説明にもある通り、民生委員や町会の方など地域の方に参加していただける工夫をすることが望まれる。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	加算や介護保険等毎年変更がある為、詳細の確認や相談を行っています。また、ご入居者様の入居の際にも困難事例の際は事前に相談させて頂いております。	指導監査課担当者とは訪問やメール、電話などで随時連絡や相談をし、適切な助言を頂く等連携が取れている。地域包括支援センターの方は運営推進会議にも出席し取り組みや実情を知って頂くと共に困難事例等の相談をしている。市のグループホーム連絡会に参加すると共に介護相談員の受け入れも行っている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	目の前の通りが交通量が多いため、お一人で出るとは危険な為玄関の施錠はしておりますが、出られなくするためではなく安全に出るための施錠です。他事務所にポスターを掲示しております。	3ヶ月毎に法人から送付される「高齢者虐待と身体拘束「ゼロ」に向けての取組み」の資料で具体的な事例を取り上げグループワークし研修している。「虐待・不適切ケアと身体拘束」チェックシートを2ヶ月毎に全職員に記入提出させている。職員一人ひとりの意識の向上と互いに注意し合えるようにする等、身体拘束をしないケアの徹底を図っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	2ヶ月に1回、スタッフを対象に不適切なケアチェックシートを実施。また、研修も実施しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	プライバシー保護及び権利擁護について研修を実施しております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、利用契約書や重要事項説明書をご説明し納得して頂いたうえでご入居頂いております。また、内容に変更が生じた際は都度説明しております。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	会社全体でサービス満足度調査を年に1回、実施しており、いただいた意見を参考に改善している。	運営推進会議、家族会その他クリスマス会・敬老会等家族参加の行事も多く、その都度家族は意見や要望を言える場ともなっている。面会に訪れる家族も多くまた、勤続年数の長い職員との信頼関係も厚く、気楽に意見や要望を言っていたいっている。毎年の法人の満足度調査や外部評価アンケートも含めて頂いた意見や要望は全体会議などで検討し、反映させると共に職員間で共有するようにしている。アンケートの回収率も高く家族の関心の高さを良く表している。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会社全体でサービス満足度調査を年に1回、実施しており、いただいた意見を参考に改善している。	管理者は全体会議や日常の会話の中で職員から出る意見や提案によく耳を傾けるようにしている。設備面で、エアコンのクリーニングや加湿機の設置台数について、エアコンのリニューアルに結びつけたり、ユニット間の職員異動など、反映させるようにしている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期昇給の他、処遇改善賞与の実施、キャリアアップ制度を導入しております。最近では福利厚生サイトをスタッフが閲覧できるようになっております。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	現状外部の研修への参加は、必要最低限となっております。毎月の会議の中で研修を実施し、スキルアップに努めております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	船橋市のグループホーム連絡会に参加。情報の共有を行うと共に、今後の連絡会のあり方についても意見を交換させて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のアセスメントの実施を徹底。また、半年に1度アセスメントの見直しを行っております。また、新たなサービス(訪問リハ)等を行う際はご家族様を交え説明しております。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	3ヶ月に1度ケアプランを作際する際に、ご家族様の希望(ニーズ)を確認しプランに反映。また、新たなサービス(訪問リハ)等を行う際はご家族様を交え説明しております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者・計画作成担当者・スタッフ・家族とじっくりカンファレンスを行い、支援の見極めを大切にしている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	必要最低限、常識のある声掛けを指導しておりますが、暮らしを共にする=家族のような関係性の構築に努めております。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の不安を和らげるため、訪問時にできる限り話をし、最近のご様子や今後の懸念を含めお話しております。また、それに対するご家族様の不安や質問に対してもしっかり解決し対応しております。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前生活されていた近所の方が、ご入居者を外出に連れて行かれる事が御座います。	友人や近所の方が訪ねてきたとき、お茶を出してゆっくりお話いただけるようにしている。元の住まいの近所の方と一緒に出かけたり、友人と一緒に地域のいきいきサロンへ出かけお茶会を楽しむなど馴染みの方との外出も行われている。家族と旅行や食事に行く、お墓参りや自宅に外泊する時等の支援の仕方を助言する等馴染みの関係を継続できるよう支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクに参加できない重度の方でもその場において頂き、雰囲気を楽しんで頂く。また、ご入居者様同士が声掛けをして下さり入居者様同士の良い関係性が構築されている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居される際も、退居先をご家族様と検討し安心して介護を受けられるよう支援しております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランを作成する際には必ずご本人とご家族様の意向を把握し作成しております。	入居前や定期的なアセスメントの他に、特変時や入退院時などには職員や家族、医師、看護師からの情報を取り入れ、ケアマネジャーが随時アセスメントを実施している。職員は笑顔で入居者との関わりをもち、多くの会話の中から気持ちや意向の把握を心がけ取り組んでいる。入居者の嗜好やコミュニケーションの仕方などは家族会開催時や面会、電話により情報を把握し、理念の「心を込めた親切的サービス」につなげている。	介護記録ファイルには、短期目標・サービス内容が添付され、職員が常にケアプランを意識して支援できるように工夫している。モニタリング、ケアプランの見直しの参考になる記録の取り方については、ユニット会議で職員への周知が既に始まっており、今後の更なる取り組みに期待したい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のアセスメントの実施。また半年に1度アセスメントを見直しを行っております。ご家族様の訪問時に、入居前に知りえなかった情報を会話を通じ得ることも御座います。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎月のユニット会議等で、サービス担当者会議を行い日ごろの体調等の変化に対してのケアについて話し合いをしております。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニットで行うサービス担当者会議とは別に、往診時や訪問看護時に情報を共有し意見を頂いております。今後は訪問リハビリ等のご意見も頂けるよう検討しております。	ケアプランに基づいて介護に当たる職員の意識が徐々に高まっており、実施状況や達成状況、サービス内容について気になることを職員は事前にケアマネジャーにメモを提出し、自分の意見を持って毎月のケアカンファレンスに参加している。入居者、家族、主治医、看護師の意見や意向を取り入れ、達成可能な短期目標やサービス内容のケアプランを作成し、3ヶ月毎のモニタリングにより見直しを行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録に普段の様子や特記事項を記載。ユニット会議等で話し合うほか、日々申し送りノートのにも記載し情報の共有をしております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	こちらで提携している病院ではなく外部の病院への受診など、家族様の要望やご本人の希望に添えるよう対応しております。また、医師と相談しご家族様の希望で訪問リハビリ等もしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣のレストランへの外食や買い物を行っています。今後、まずは地域のボランティアの方を積極的に受け入れていく予定です。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	こちらで提携している病院ではなく外部の病院への受診など、家族様の要望やご本人の希望に添えるよう対応しております。また、医師と相談しご家族様の希望で訪問リハビリ等も行ってまいります。	月2回の往診前には相談事項などをFAXで事前に往診医に送付し、円滑な受診が行われている。医師からの指示事項はケアマネジャーからリーダーが「往診時の記録」に記載し、職員間の情報共有を図っている。副作用が考えられる精神薬系の処方時には、服用前に家族への連絡と確認を行っている。往診医からのコメントを毎月の「船橋二子通信」で家族に報告し、ケアプランの見直しにもつなげている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護時、医師からの申し送りやご入居者の体調の変化・気になることを報告し共有しております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院が長引くことにより認知症上の悪化やADLの低下につながる為、リハビリ等は可能な限りホームで生活リハビリを行って頂いております。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアの指針について、契約時に説明と同意を交わしているが、必要に応じて都度、家族に説明したり、往診医・家族・ホーム・訪問看護でカンファレンスを実施している。	重度化した場合や看取りの事業所の対応や支援については、入居時に入居者・家族に説明し同意を得ている。家族から看取りについて相談があった際には、家族と主治医、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、職員で今後の方針について話し合い、入居者・家族の意向に沿った看取り支援を行っている。看取り研修の実施や職員のメンタルケアにも配慮し、看取り経験のある職員を中心に体制が整備されている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に緊急時の対応の研修を行うと共に、緊急対応マニュアルを完備。5月に普通救急救命講習実施予定。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害等発生した際、近隣住民のご協力は限られてしまう。次回の避難訓練はご家族様参加型とし、今後は地域住民への呼びかけも行う。	1階、2階の夜勤対象者2名が役割分担して実施した夜間火災想定消防訓練では、近隣職員を優先した緊急連絡網による召集訓練を実施している。また、消防立会いの日中火災想定消火・通報・避難誘導訓練を実施し、消防への報告の仕方や通報設備の取り扱い方など訓練で気づいた不十分な点を抽出し、報告書にまとめて改善につなげている。コンセント周りやガス器具の点検などは定期的に防火用自主点検票でチェックし防火対策を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	2ヶ月に1度不適切なケアチェックシートを実施。 また、気になる声掛けに対しては日々注意しております。	入居者のペースやその時の気分に合わせて、入浴や散歩、食事などを無理強いしないように努めている。ミシンを使っての裁縫や携帯電話を使用する方、日記風にメモを取る人など入居者個々の趣味やこれまでの生活を継続して過ごしている。行動抑制につながる言葉づかいには特に注意を払っているが、敬語での会話にはこだわらず、入居者とのコミュニケーションを大切にしながら個々に合わせて接することを心がけている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のレク等もご入居者を中心とし行っていくことにより、自らの意思決定につなげている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々のレク等もご入居者を中心とし行っていくことにより、自らの意思決定につなげている。また、日常の生活もその人らしい生活リズムを送れるよう努めております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴の際、ご自身で選べる方にはご自身で選んでいただいている他、いつも同じような服になる方は一部スタッフが選定している。外出の日には、お洒落な洋服を着ていただいたり支援している。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	暖かいものは温かいうちに提供する。テーブル拭きなど食事の準備や片づけを行える方には一緒に行って頂く。	盛り付けに工夫し、見た目も美味しい料理の提供を心がけている。また、食事中はテレビを消して懐かしい音楽を流し、職員と入居者が会話をしながら食事を楽しんでいる。テーブル拭き、食器拭きや誕生日のケーキ作りなど入居者の力に合わせて料理を手伝っている。定期的に和洋食レストランでハンバーグや寿司など好きな外食を楽しみ、また、おせち料理などの季節ごとのメニューを用意して季節感を味わっている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量の把握。食事量の低下が見られる方には食事形態を変更しての提供や、高栄養の補助食品にて対応しております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自身でできる方は極力ご自身で口腔ケアを行って頂く。難しい方には職員の介助にて対応。 訪問歯科により口腔ケア指導も実施。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	現在1人対応では立位保持が困難な方でも、日中に限りトイレ誘導を2人対応にて実施。また、入居時バルーン挿入されていた方も医師に相談し、現在は自尿が見られています。	立位が可能な入居者は、介助によりトイレでの排泄にこだわり支援している。落ち着きがない表情や動きの観察によりスムーズにトイレへ誘導し排泄の失敗を少なくしている。睡眠を妨げない夜間の排泄介助法やパットの大きさなどをユニット会議で検討し、自立に向けた排泄支援につなげている。各ユニットの3ヵ所のトイレには、跳ね上げ式手すりが設置され、座位姿勢を支えて安心して排泄できるように配慮されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の回数や間隔を把握し医師と相談し、個々に合わせた対応をしております。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の際はお声掛けをし、ご本人の意思を尊重。 また、その人体調や気分等もあるので考慮しております。	毎週2～3回、希望の曜日の午前中に入浴を楽しんでいる。体調や気分がすぐれない場合は、入浴を無理強いせず、シャワー浴や時間帯をずらすなどの対応を図っている。入浴中はプライバシーに配慮しながら、1対1の見守りを徹底し、入居者との会話をしながらの入浴介助を行っている。また、浴室と脱衣室の温度差をなくしてヒートショックの防止や健康管理にも注意を払っている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣の把握や、ご本人の気持ちに寄り添い安心して生活できる環境を提供しております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	新しい薬が処方された際は、効果だけではなく副作用にも注意しスタッフ間で共有しております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者個々の嗜好品や趣味、楽しみごとを把握し、タイミングをみて支援している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や外食の実施。また、年間行事である合唱コンクールや運動会も可能な限り参加しております。	天気の良い日は近くの公園への散歩やスーパーへの買い物に車イスの入居者も一緒に出かけている。季節ごとの近隣の寺院への初詣、桜見物や家族と一緒に食事、墓参り、旅行に出かけるなど家族との協力による外出支援が行われている。法人の合唱コンクールや運動会にも全員で参加し、他の施設の入居者との交流を図っている。また、友人と一緒に地域のサロンへ出かけ、お茶会を楽しむなど馴染みの方との外出も行われている。	毎日のスケジュールや職員配置の工夫により、日常的な散歩や買い物外出の頻度を更に増やしていく取り組みが望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様にご理解を頂けているご入居者に関しては、ご本人の希望で買い物に出かけたり、スタッフが買ってくる場合が御座います。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様が携帯電話を所持されている。ホームとして充電の実施や電話時の支援を行っております。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や行事ごとにホーム内の掲示物を変更。可能な限りご利用者にも作成して頂き、一緒にホーム内の環境を作っております。また、テレビが日向にあることから反射する時間はカーテンを閉め対応することも御座います。	笑い声が聞こえるリビングでは新聞のチラシをながめる人や百人一首を楽しんでいる人などおだやかな雰囲気の中で入居者は過ごしている。入居者同士の相性を考慮し、全員がテレビの見える位置にテーブル席を配置するなど落ち着いて過ごせるように配慮している。玄関の花や入居者が作成した桜、モミジの掲示物が季節感を感じさせる。また、3台の加湿器により健康管理を図り、インフルエンザ防止につなげている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中、フロアにいらっしゃる方が多いので、お一人になられる際は居室に行かれる事が多くあります。また、ソファーに座り新聞を読まれる方もいらっしゃいます。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様によってですが、普段使い慣れたものをお持ちいただくことにより、ご入居者様に『自分の部屋』というイメージを持って頂くことが可能です。また、入居後の写真を多く貼られる方もいらっしゃいます。	使い慣れた鏡台、座椅子、整理ダンスや思い出の日本人形などが家族の協力により居室に持ち込まれている。季節行事の写真や折り紙作品が飾られ自分の部屋作りが行われている。読書の好きな方の書棚には本が飾られ、ベッドで日記をつける入居者など思い思いに居室で過ごしている。つまりやすい位置に家具を配置して転倒防止を図り、また、衣替え時の衣服の整理など職員による支援が行われている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	可能な限り見守りに対応し、できることはお手伝いいただき、ADL低下の防止や自立支援に努めております。		